

平成二十年度秋号

曹青かわら版

平成20年10月28日
山口県曹洞宗青年会
会長 大野 毅

◆緑蔭禅の集い◆

七月五日、功山寺様（八教区・下関市）を会場に、緑蔭禅の集いを開催。参加者百一名。

開会式を厳修し、早速坐禅を体験して頂き、参加した皆様は緊張した様子で静かに坐っておられました。

その後、会場をお貸し下さいました功山寺ご住職・有福孝岳老師よりご法話を賜り、参加者の皆様はご老師に近づいて真剣にお話を聞いておられました。

そして典型的な唐様仏殿としては日本最古といわれる国宝仏殿へ参詣し、本尊・千手観世音菩薩像を拝し、その慈悲に満ちたお姿に一同手を合わせておられました。

昼食を済ませ、午後からは多くの史伝小説を書いておられる下関出身の文筆家・古川薫先生よりご講演いただき、その後恒例の写経を行いました。

今回もアンケートに答えて頂きましたのでいくつご紹介致します。

「時々国外へ旅行に出かけますが、改めて日本の社寺は素晴らしいと思えました」（五十代・女性）

「坐禅の時間がもう少しあれば良いと思う」（五十代・男性）

「青年僧のキビキビした対応に深く感謝申し上げます」（七十代・男性）

「万緑の古刹で催された坐禅会。法話講演ととても良い体験をさせて頂きました。精進料理がとても美味しかったです」（七十代・女性）



↑坐禅の様子。広い本堂に坐禅特有の緊張感が・・・どなたも真剣です。

「時々国外へ旅行に出かけますが、改めて日本の社寺は素晴らしいと思えました」（五十代・女性）

「坐禅の時間がもう少しあれば良いと思う」（五十代・男性）

「青年僧のキビキビした対応に深く感謝申し上げます」（七十代・男性）

「万緑の古刹で催された坐禅会。法話講演ととても良い体験をさせて頂きました。精進料理がとても美味しかったです」（七十代・女性）



←中食の様子。精進料理をいただきました。

→期間限定のご開扉です。



「写経の時間をもっと長くして欲しかった」（四十代・女性）

「一回参加したら二回目待ち遠しくなった」（七十代・男性）

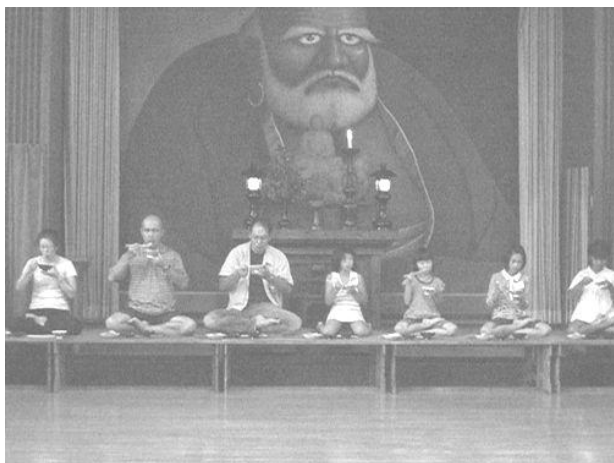
「冷たいお茶を望んでいらっしやる方もいたようでした」（三十代・女性）

「初めて参加しましたが、途中気分が悪くなりご心配お掛けしました。後は元気に過ごすことができ、とてもうれしく思いました。ありがとうございました」（六十代・女性）

◆徒弟研修◆

八月二十七から二十九日の三日間、奈良県の三松寺様での参籠を含む徒弟参籠研修を宗務所共催で開催しました。二十七日、最寄りの新幹線各駅から乗り込み合流、子どもも二十名、一般・引率二十二名合計四十二名の参加でした。

新大阪からバスに乗り換え、結団式を行いつつ、一路奈良へと向かいました。お昼を食べた後、広い境内を鹿と一緒に散策し、二月堂を見たり、今はなき五重の塔の跡を見学しながら東大寺に到着。テレビでも良く解説に出てこられる東大寺庶務執事の狭川普文老師に直接



↑坐禅堂で展鉢の様子。慣れない作法にとまどい気味。でも研修では初めての経験です。



↑肝試し後の嬉しいひとこま。甘くておいしいスイカでした。

案内頂きました。

一通りの説明を受けたのち、大仏殿へ案内され、なんと蓮台の上から大仏様を拝ませて頂きました。ここはもちろん一般参詣者が上がることは出来ませんが、僧侶でも特別に許しのあった方しか上らせていただけない場所です。事前のお願いもしていましたが、「徒弟研修ならば特別に！」とのこと許可をいただいた次第です。

参加者に小学校の先生がいらつしやったのですが、「帰ったら絶対に子どもたちに自慢する。一生の宝だ！」と興奮気味に口にされています。

その後バスで薬師寺駐車場まで移動、



↑作務の様子。食事で使用した桶を洗っています。家に帰ってもできるかな？

そこから二キロ近い道を徒歩で移動し参籠研修をお願いしている「三松寺」さまへ到着しました。開講諷経を行い、いよいよ修行のスタートです。三松寺さまには立派な坐禅堂があり、そこで坐禅や食事のすべてを行います。伺ってみると、普段は坐禅会の他、剣道や合気道の道場として開放しているとのこと。五十坪はあろうかという広い坐禅堂でした。

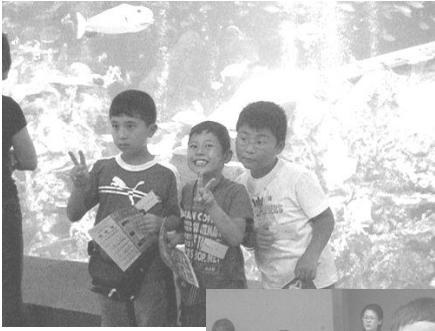
参加した子どもたちのほとんどが、お寺の息子・娘ですので、雰囲気になじむのは早かったのですが、坐禅で足を組むのが苦手な様子。もぞもぞしたり、キョ

ロキヨロしたりする子もちらほら。

食事もここで行います。青年会員が
浄人となり給仕をします。子どもたちは
和尚さんの指示に従いながら見よう
見まねで展鉢をします。最後に器をお茶
と沢庵で洗うのが難しいらしく苦戦を
していました。

夜には和尚さんの計らいで「肝試し」。
のどが乾いたのか、その後で出してもら
ったスイカにかぶりついていました。

二十八日は翌朝も早くから暁天・
朝課・作務・小食と精を出し、無事修行
を終了しました。



←鳥羽水族館にて
「最初からここなら
いいのに」って？



→新聞紙のTシャツ
です。なぜこんな
着てるかって？それ
は行った人だけの
秘密です。

三松寺の方丈様、またご家族皆様の
細やかな気配りに感謝申し上げます。

その後、薬師寺様へお参りし、玄装三
蔵様がお祀りされているお堂を特別拝
観させていただき、奈良を後にしました。

昼食を挟んで、鳥羽水族館を見学。
子どもたちへのご褒美です。その後
ホテルへ移動しにぎやかに夕食を
いただきました。

二十九日は伊勢神宮へお参りし、
帰途へつきました。

感想はそれぞれにあると思います。
そこで、子どもたちに研修の思い出を書
いてもらいましたのでご紹介します。

「徒弟研修に行つて」

木村 幸誠（八歳）

僕はこの前徒弟研修に参加しました。
初めて会った人がたくさんいました。

初めての徒弟研修でしたが、うまく
出来たと思います。朝早く起きれました。
五観の偈もうまく言えました。一番
面白かったのが、鳥羽水族館でした。
アザラシのショーを見ました。ボールを
乗せるのがすごかったです。高足ガニが
すごく大きくてビックリしました。僕の
大好きな、は虫類もイグアナや蛙そして
ワニもいたので見ていてとてもおもしろ
かったです。

みんなのお寺の生活はたった一日
で初めてのことでばかりで大変だった
けど、良い経験になりました。来年も
機会があつたらまた参加したいです。

「この三日間で得たこと」

陣内 ななみ（十四歳）

わたしはこの三日間とても色々な
ことを得ることが出来た日々だったと
思います。例えば、お寺で大変貴重な
体験をさせていただいたり、普段入れな
いような所に入れてもらったり、そうい
うことを一つ一つ振り返っていくと、
一つ一つに意味などがあることがよく
分かってきます。お寺では食べ物大切に
にしたり、使った所をきれいにするこ
として一番大切なのは人の心だと私は
思いました。それがなければお寺に泊ま
れなかったと思うし、あんなに色々な
ころに入れなかったとも思います。それ
に人を大切にしている心がないと友達も
出来ないし、人と仲良くすることも、
この研修を楽しむことも出来なかつた
と思う。だからこの3日間得た色々な
ことをこれからもいかそうと思う。
あとはみんなで行くとどんなところ
でも楽しかったことです。

◆中曹青大会報告◆

去る十月二十一・二十二日、広島県福山のウエルサンピア福山に於いて、「日々是好日〜悠々「寺」適な禅寺生活」を大会テーマに、第三十一回中国曹洞宗青年会広島大会が開催されました。中国地方全域から約八十名の青年僧侶が集いました。

今回は臨済宗妙心寺派福島県福聚寺住職の玄侑宗久老師をお迎えし講義いただきました。

初日は広島県内の一般御寺院・寺族も参加されての公開講座で、「地藏と観音のころ」と題しての講演をいただきました。

二日目は青年僧侶を対象に、「私たちも悩んでいる!？」と題して、事前に行ったアンケートの集計結果を元に、対話形式でご意見を頂きました。内容は1僧侶の現状2過疎地域の寺院の問題3寺族の苦悩4後継者問題5社会地域への関わり方6今後の教化についてです。

二日間を通して内容は多岐に渡りましたが「仏教的な価値観が日本の社会から消えつつある」ことに大きな危惧をもたれていること、そして僧侶としてお寺

を中心とその問題に正面から取り組むことをお伝え頂きました。この研修を通して学んだことを自坊でさらに深め、役に立てていきたいと思えます。

余談ですが、「多重人格」について詳しく楽しく話しをされていました。現在執筆中の本の内容だとか・・・発売を楽しみにしています。



◆タイ山岳民族教育支援

◆募金クラブ販売状況◆

七月八日(火)

四教区长徳寺様

クラブト 7,500円

九月三十日(火)

三教区梅花特派

三教区華嚴寺様

クラブト 52,900円

募金 1,300円

十月四日(土)

中国薬師霊場合同法要 一教区长徳寺様

クラブト 41,200円

募金 6,240円

◆今後の行事案内◆

十一月十七日(月) 禅文化学林・

全曹青千僧法要 於 奈良東大寺

十一月二十七日(木)

戒弟の集い 於 法明院様

十二月十一日(木)

年末懇親会 於 山口市「かめ福」

十二月六日(土) 托鉢(徒弟研修併設)

午後二時半〜 下関市海晏寺様集合

十二月二十三日(火) 同托鉢

午後二時 周南市真福寺様集合

*托鉢は徒弟研修併設です。徒弟の皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先 山口県曹洞宗青年会事務局

下関市長府松小田中町九一四福昌寺内

電話 FAX 〇八三一二四五〇〇五四